

生産方式革新実施計画の概要【有限会社 鈴木農産企画】

2026年
8月20日認定

活用するスマート農業技術

自動操舵トラクタ（直進アシスト）

新たな生産の方式

ほ場の大区画化

水稲において、畦畔除去によるほ場の大区画化を行うことにより、自動操舵トラクタ（直進アシスト）の作業効率を上げ、労働生産性の向上を図る。

<申請者>

有限会社 鈴木農産企画（山形県鶴岡市）
経営概況（2026年7月時点）
経営規模：水稲30ha
従業員数：7名

<対象品目>

水稲

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



鈴木農産企画の皆様



自動操舵トラクタ

～認定を受けて一言～

作付面積が増えると、ほ場の移動や畦畔の草刈りなどの管理も増えるので、畦畔除去によるほ場の大区画化と自動操舵トラクタ、ドローン等のスマート農業技術の導入により、作業時間の短縮及び従業員への身体的負担の軽減が図れるので、今後の担い手育成においても優位性があり、自立した持続可能な農業を目指していきます。